

出席者 有識者・委員・行政 計24名

○次第

あいさつ : 縮充のまちづくり検討委員会 座長 作野 広和 教授
縮充戦略会議 座長 江見 秀樹 副町長

報告事項 : 行政側の動き、地域の動き

意見交換会 : 進行 佐伯縮充戦略アドバイザー
話題提供 西川 正さん

○小人数グループに分かれて意見交換会

テーマ : 「未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？」

有識者・委員・行政で少人数のグループに分かれ、意見交換会を行った。



未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？

○充実した場所・状況・まち
ここにいてもいいと思える場所がある
ともだちがいる
やる・やらないの自由があり、やりたい事を自由にできる
今日も楽しかった、おもしろかったと思いながら布団に入る
→大人になってからそういう経験ほとんどない。
日々やることがある
地域での行動拠点を充実させる
たくさんあそべるまち
心に余裕がもてるまち
安心安全のまち
過疎地ならではのサービスを
中心部と同じサービス
佐用中心地は近代的に・周辺は自然
やりたい仕事がある

○生活
心身ともに健康で過ごすこと
一日しっかり仕事をやりとげる
健康に100歳まで長生きする
退職後は家でのだんびり、休日はたまに都会へ
【昭和】不便だから不幸
【現在】不便でも不幸ではない
家族の笑顔が見れる
趣味で農業、「おいしい」が生きがいに
収穫した作物をシェア、自分一人の幸せをみんなへ

意見交換で出た意見

○人間関係
普段からの コミュニケーションが大切
あいさつが良くできる生活
自然にでるおはよう！
ワイワイおしゃべりできる
お互いを認め合える
思いやり・助け合いのある生活
色んな世代の人との対話の場をもっとつくる
ともだちがいる
同じ志・目標をもった仲間がいる
（仲間がいてこそ色々できる）

人とのつながり・・・①地域で子供を育てる
②仲間がいること
いいコミュニケーションvsウワサ話
隣近所でちょっとしたおしゃべり相談が出来る
ネガティブなウワサ話→窮屈→会いたくない
ポツンと一軒屋でも 良くない？
↑そういうことを言える関係

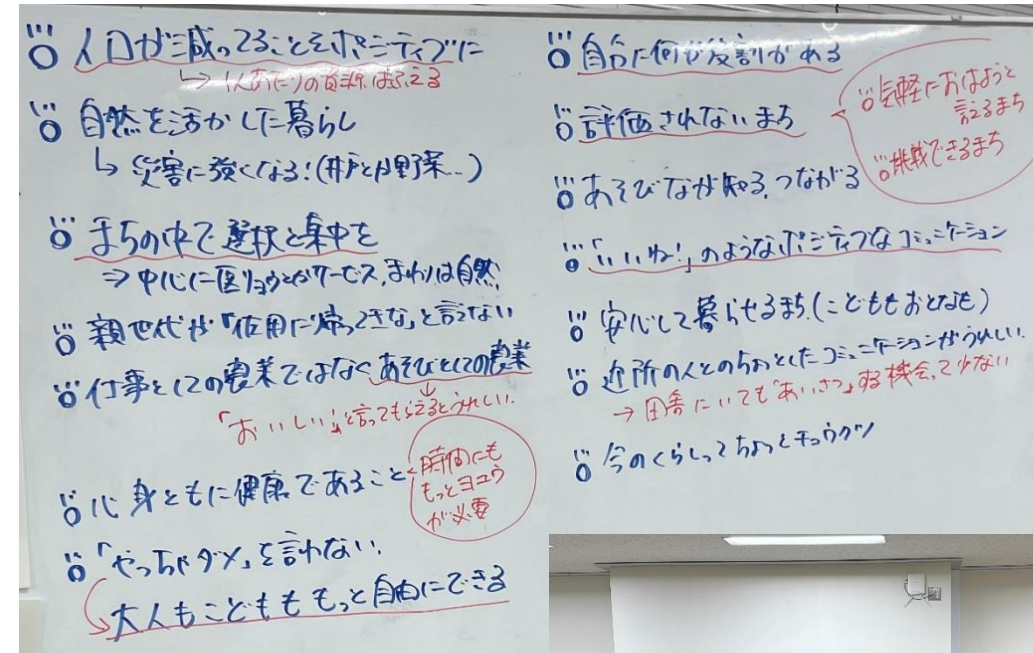
○子供・子育て関係
昔は「とんど作り」も6年生の子がやっていた。
自然とあそぶことができる！
子どもが少ない分 手厚い
地域の人、みんなで子育て
現状習い事の選択肢は 少ない
大人の価値感を 子どもに押しつけない（習い事塾・英会話）
あそぶ選択肢をつくらせていないのでは？
親が勇気を 出して「近くに住まない？」と言って
みる？→人口減食い止められるかも
でも「田舎におらんでもええ」言ってしまうがちな
年代（昭和の苦労、知っている）
将来どんな職業に就きたいか子供の意見聞く

○今ある資源を活かす
地産地消（田・畑・川）鮎・魚が取れる
自然を活かす生活
適度な田舎
天文台など今ある資源を大切に
人口減→基本的には一人あたりのリソースは増える
災害時むしろ強い！地域ぐるみで対応できる、大事にした方
がいい！
食料・・・自給できる、井戸がある
井戸大事にした方がいい
都会はインフラに頼りすぎている

未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？

○発表まとめ

- ・人口が減っていることをポジティブに
一人あたりの資源は増える
- ・自然を活かした暮らし
- ・まちの中で選択と集中を
→中心に医療サービス、周りは自然
- ・親世代が「佐用に帰ってきな」と言わない
- ・仕事としての農業ではなく、遊びとしての農業
- ・心身ともに健康
- ・時間に余裕が欲しい
- ・「やっちゃダメ」を言われない
大人も子供も、もっと自由にできる
- ・自分に何か役割がある
- ・評価されないまち
- ・気軽に「おはよう」と言えるまち
- ・挑戦できるまち
- ・遊びながら繋がる、知る
- ・「いいね！」のようなポジティブなコミュニケーション
- ・安心して暮らせるまち(こどももおとなも)
- ・今の暮らしは少し窮屈



○記録写真

